

公的年金の資産残高と投資行動

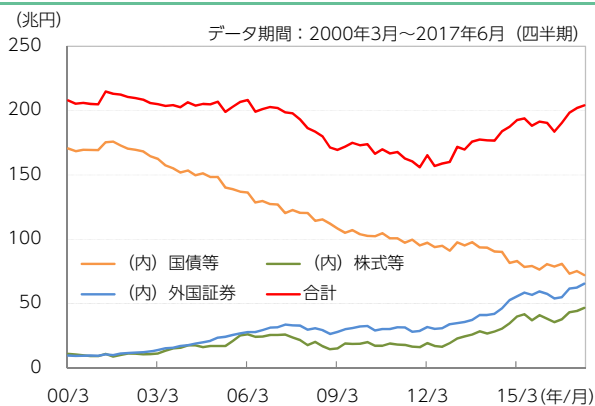
公的年金の国内株式投資は抑制された状態が続く可能性も

- ▶ 2017年6月末時点で、公的年金の『株式等』と『外国証券』の合計額が過去最高を更新。
- ▶ G P I F等が定める基本ウエイトとのかい離状況等から判断して、公的年金による国内株式買入れは抑制され、外国証券投資が中心となる可能性も。

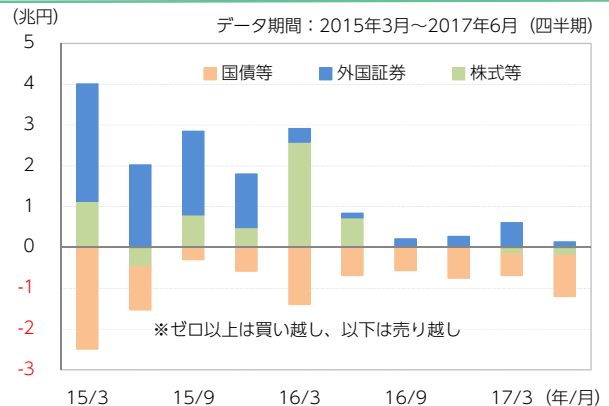
日本銀行が9月20日に発表した2017年4～6月期資金循環統計（速報）のストック（残高）データによると、年金積立金管理運用独立行政法人（G P I F）や共済年金等の公的年金が保有する『株式等』と『外国証券』の合計額が前期比5.0%増の112.3兆円（各々46.7兆円、65.5兆円）となり、3期連続で過去最高を更新しました。米国の景気・企業業績拡大等による世界的な株高、日米金利差拡大観測等を受けた円安等による評価額の増加が追い風となりました。一方、『国債等（財政投融资債^(注1)含む）』は債券から株式等リスク性資産への資金シフト方針のもと、前期比4.3%減少の72.2兆円となりました。ピーク時2001年7～9月期の176.0兆円からは約100兆円減少しています。

上記統計のフロー（売買）データによると、2017年4～6月期に公的年金は『株式等』を0.20兆円売り越しました。売り越しは4四半期連続です。G P I Fと3共済^(注2)のポートフォリオ（2017年6月末時点）に占める『株式等』のウエイトが、目標とする基本ウエイトをほぼ達成しているためと思われます。また、『国債等』を1.00兆円売り越しました。売り越しは16四半期連続となります。一方、『外国証券』は0.14兆円買い越しました。買い越しは13四半期連続です。基本ウエイトとのかい離をみると、G P I Fと3共済の国内株式投資は抑制された状態が続きそうです。（注1）財政投融资を行なう資金の調達のために発行する債券（注2）国家公務員共済組合連合会、地方公務員共済組合連合会、日本私立学校振興・共済事業団

図表1：公的年金の資産残高（ストック）



図表2：公的年金の売買状況（フロー）



図表3：G P I Fと3共済の資産残高（ストック）

※2017年6月末時点 私学とは日本私立学校振興・共済事業団

項目	G P I F		3共済					G P I F+3共済		基本ウエイト (%)
	金額 (兆円)	ウエイト (%)	金額 (兆円)	国家公務員 (兆円)	地方公務員 (兆円)	私学 (兆円)	ウエイト (%)	金額 (兆円)	ウエイト (%)	
国内債券	45.5	30.5	13.7	4.1	8.4	1.1	41.2	59.1	32.4	35.0
国内株式	36.4	24.4	8.3	1.3	6.1	0.9	24.9	44.7	24.5	25.0
外国債券	20.2	13.5	3.8	0.4	2.9	0.4	11.5	24.0	13.2	15.0
外国株式	35.7	23.9	6.9	1.3	4.7	0.8	20.9	42.6	23.4	25.0
短期資金	11.4	7.7	0.5	0.4	0.0	0.1	1.5	12.0	6.6	-
合計	149.2	100.0	33.2	7.6	22.2	3.4	100.0	182.4	100.0	100.0

出所：図表1～2は日本銀行、図表3はG P I Fや3共済のデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会